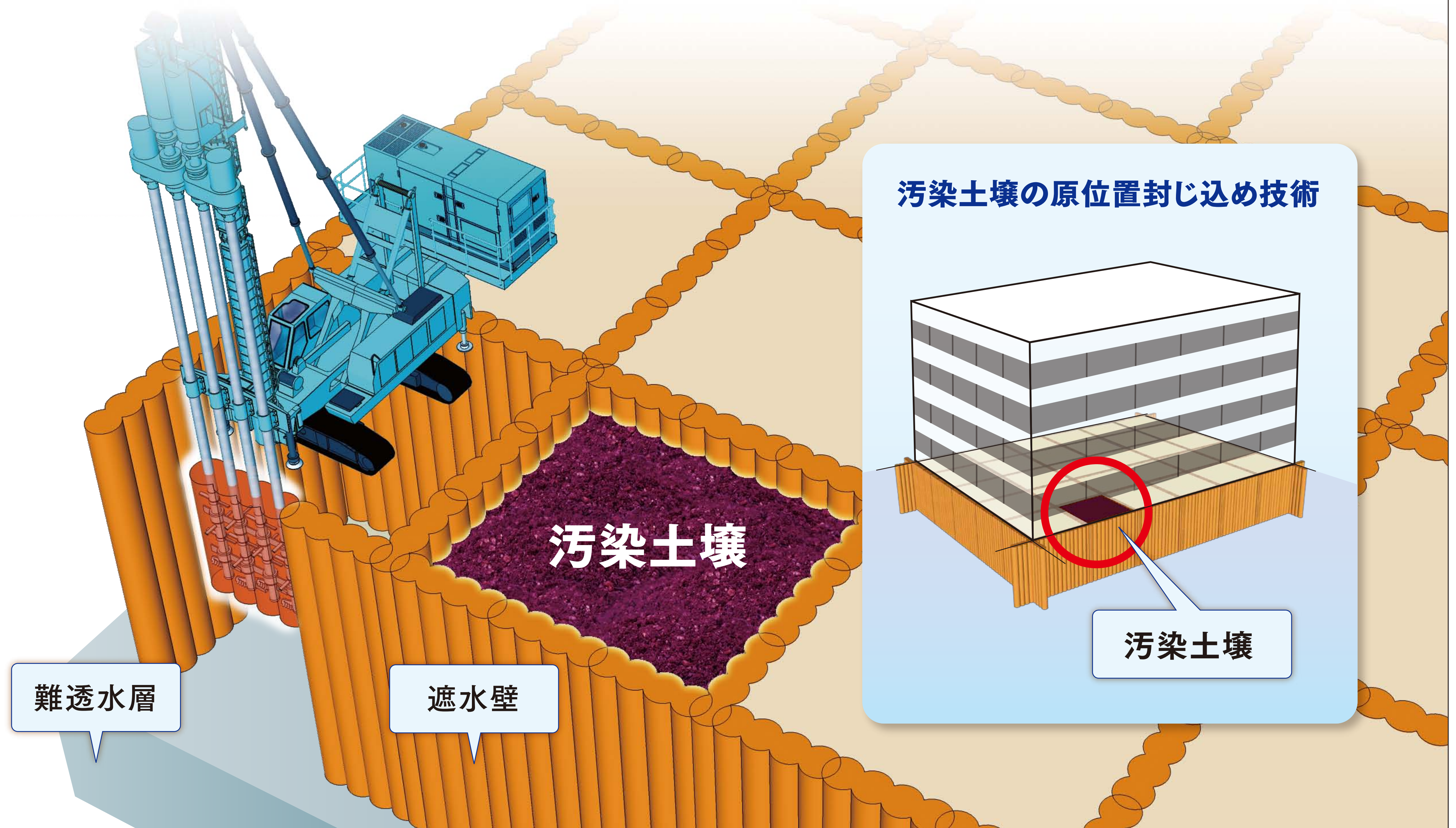


環境対策、防災対策の両立を可能にする地盤改良

DCM-L汚染土壌封じ込め技術

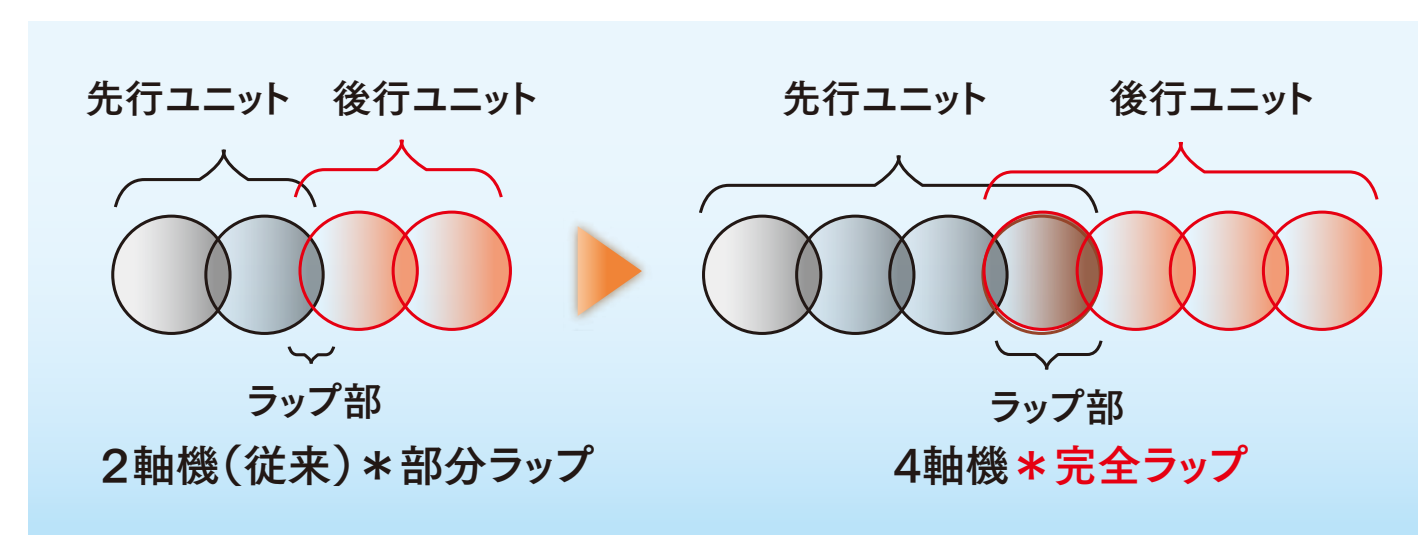
原地盤にセメントミルクを注入・攪拌し地盤改良体を造成するDCM-L工法にて遮水壁を構築、難透水層からなる底盤との組合せにより汚染土壌を囲い込むことで、封じ込めを行う技術です。汚染土壌の原位置封じ込めや液状化対策が必要となる土地や建物の環境と安全を守り、資産価値を維持できます。



DCM-L工法による格子状地盤改良

4軸機の開発により、高い遮水性能と工期短縮を実現

DCM-L工法(深層混合処理工法)施工機に、4軸機を追加しました。従来の2軸機に比べ、完全ラップ方式とすることで高い遮水性が得られると共に、耐液状化格子状地盤改良工法(TOFT工法®)において大幅な工期短縮およびコスト縮減を実現します。



各ユニットの接合方法



DCM-L 地盤改良体による柱列壁



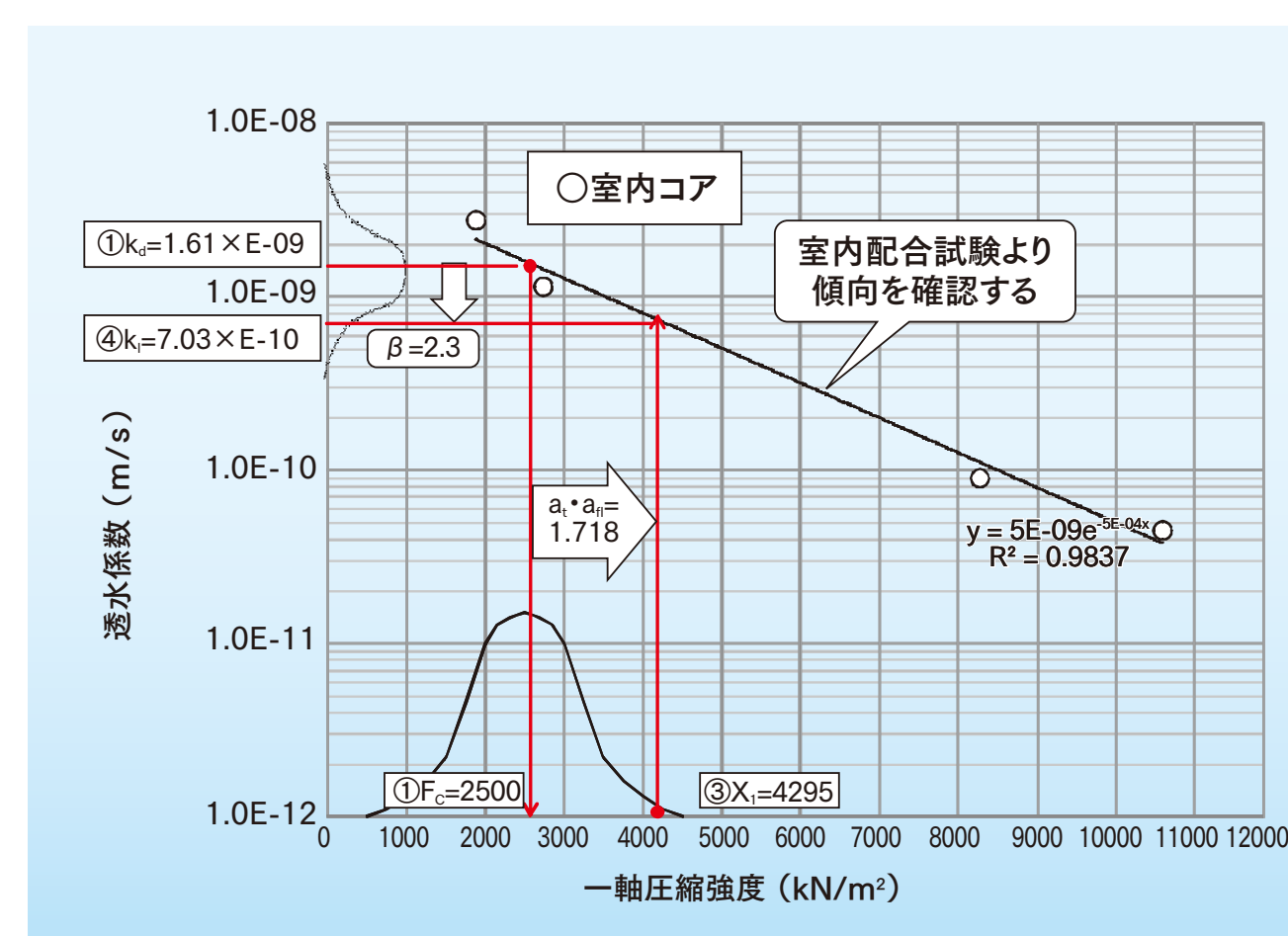
DCM-L 4軸施工機械

高度な施工管理、解析・検証技術

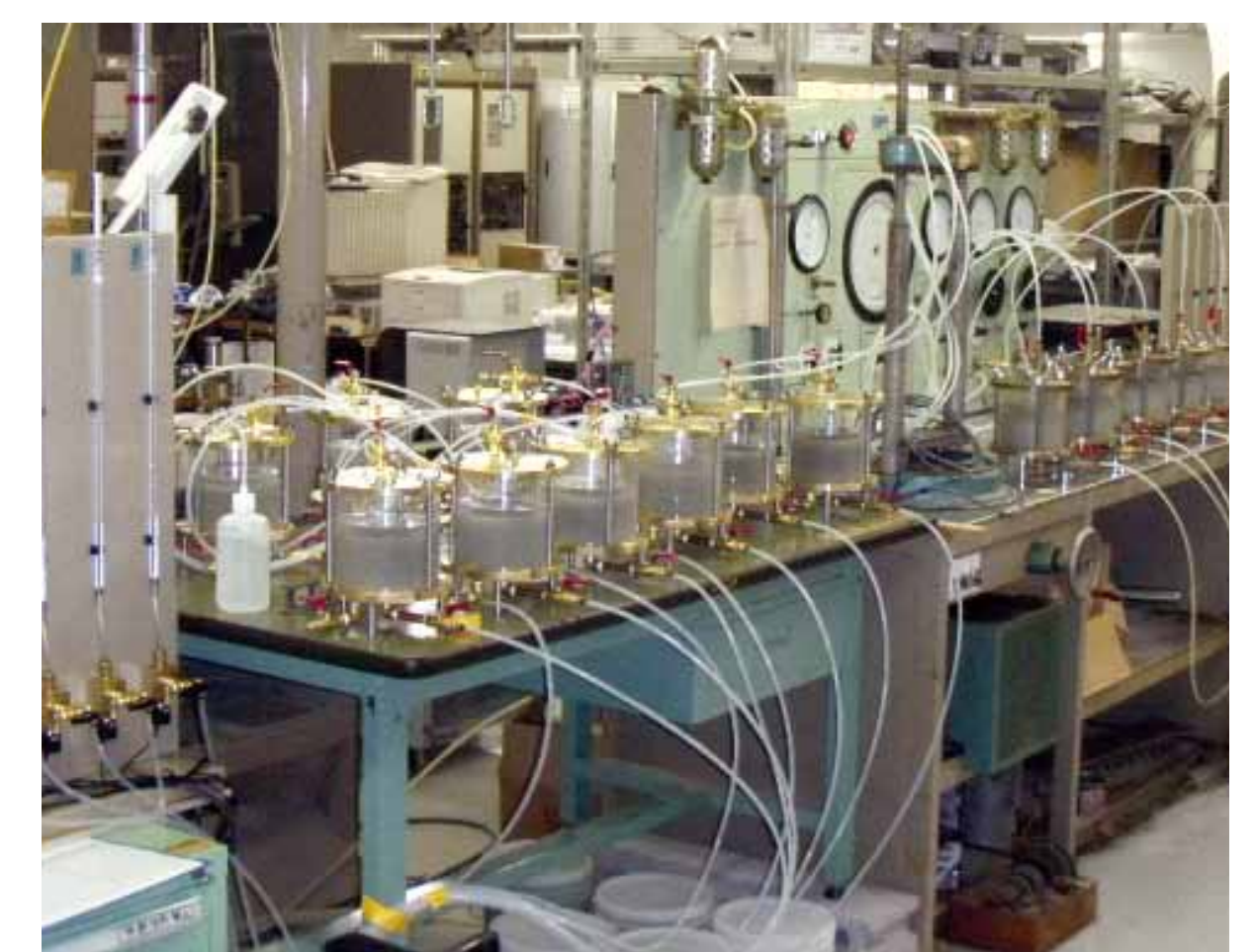
独自の設計施工管理により、優れた遮水性と耐震性を維持

[技術性能証明:GBRC12-03改]

品質のばらつきを考慮して遮水性を確保、透水試験システムで高精度の配合試験や品質検査を実施します。さらに、3次元FEM解析や大型遠心模型実験装置による耐震・液状化対策の検証も可能です。



遮水性を確保するための、配合設計法と品質検査手法



独自の透水試験システム(特許出願)